

自治会加入促進・活性化に向けた取組について

1 目的

地域コミュニティの中核的な役割を担う自治会においては、近年、集合住宅における未加入者や退会する高齢者が徐々に増え、加入率が低下していることから、自治会への加入促進や活動の活性化を図るため、誰もが加入したいと思える魅力ある自治会づくりの取組を推進するもの

2 令和3年度の取組・・・別紙

自治会への加入促進や活動の活性化に向け、市と宇都宮市自治会連合会が連携・協力し、魅力ある自治会づくりに資する各種事業を実施していく。

(1) 魅力ある自治会づくり支援事業補助金

ア 補助概要

地区連合自治会や単位自治会が主体となった「集合住宅への加入促進」や「ICT活用による情報発信の強化」など、地域課題を解決するための取組や自治会の魅力を高める取組を支援するため、宇都宮市自治会連合会を通して、活動費を補助するもの

予算額：2,000千円（1事業当たりの補助上限200千円×10事業）

事業期間：令和3年7月から令和4年3月

イ 取組内容

分野	地区名	主な取組
集合住宅への加入促進	河内 (岡本駅前二区 自治会)	賃貸マンションやアパート入居者への加入促進活動
	細谷・上戸祭	不動産業者等との連携による集合住宅・分譲住宅への加入促進活動
ICT活用による情報発信の強化	清原	地域ICTプラットフォームアプリを活用し若者世代が活躍できる自治会づくり
	上河内	自治会公式LINEを活用した若者世代等への情報発信
	陽光	地区連合自治会ホームページ開設による自治会活動の見える化

分野	地区名	主な取組
地域防災力の向上	瑞穂野	地区防災計画を活用した防災のしおりによる防災意識の啓発
	河内	地区防災計画を活用した防災マップ作成や防災研修会の開催
	宝木 (宝木細谷自治会)	防災かまどベンチの設置による「頼りになる自治会」づくり
	平石	地区防災計画の策定による防災意識の啓発
共助による 福祉力の向上		健康寿命をテーマにした活動の実施
	西原	地域の高齢者を住民同士で支え合う新たな共助の仕組みづくり
計		9地区10事業 ※平石地区が1事業で2分野を実施

※ 単位自治会が主体となった取組は（ ）内に単位自治会名を記載

ウ 今後の展開

自治会への加入促進や活動の活性化を図るため、これらの取組により得られた成果を全市に広く周知するとともに、自治会が主体的に取り組んでいけるよう、各自治会の実情に応じた、地域に寄り添った支援の充実を図っていく。

(2) 意識醸成のための講演会・ワークショップの開催

ア 講演会等の概要

宇都宮市自治会連合会が開催する、多くの自治会で抱えている課題をテーマとした講演会や参加者対話型のワークショップを通じて、課題解決策の習得や自治会長同士の情報交換を行うことにより、新たな活動の活性化を図るもの

【参考】令和3年度の講演会等の内容

テーマ：第1部 アフターコロナに必要とされる自治会運営

第2部 今後求められる自治会の役割とは など

対象：自治会長等（定員30名）

日程：令和3年11月21日（日）午後1時から午後4時

会場：ミナテラスとちぎ セミナールーム

参加費：無料

イ 今後の展開

講演会やワークショップで得られた課題解決策や自治会長同士のつながりなどを、それぞれの魅力ある自治会づくりへの取組に活かしていく。

(3) 自治会会員の優待制度「宮PASS」

宇都宮市自治会連合会が実施する、自治会会員を地域ぐるみで応援する制度である「宮PASS」のサービス提供施設に、飲食店やスーパーなど、制度開始当初より、新たに21施設が追加され、加入促進に向けた連携・協力の輪が広がっている。

ア 制度概要

自治会会員に加入のメリットを感じてもらえるよう、宇都宮市自治会連合会が発行した自治会パスポート「宮PASS」を、飲食店や宿泊施設などのサービス提供施設に提示することにより、割引や特典などの優待を受けることができる制度

対 象：市内の自治会加入世帯

配 布 数：約148,000世帯（1世帯に1枚配付）

有効期間：令和3年5月1日から令和6年4月30日

サービス提供施設数：122か所（飲食店、宿泊施設、レジャー施設など）

※9月末時点（随時追加予定）

イ 今後の展開

様々な機会を捉えた制度周知に努めるとともに、これまでの加入促進策に加え、「宮PASS」を自治会加入のメリットとして活用することにより、自治会加入促進につなげる。

自治会加入促進・活性化に向けた取組 ～誰もが加入したいと思える自治会のために～

地域主体の魅力ある自治会づくり ～地域課題の解決に向けた取組～

集合住宅への加入促進

自治会活動への興味関心の向上

地区名：河内、細谷・上戸祭

<主な取組>

- ・自治会内の協力施設にのぼり旗を設置
- ・自治会長の写真入り自治会マップを作成し、自治会活動を見える化
- ・地元集合住宅管理運営会社と連携し、集合住宅に対し、会報と啓発物品をポスティング



ICTを活用した情報発信の強化

地域デジタル化による自治会活性化

地区名：清原、上河内、陽光

<主な取組>

- ・地域ICTプラットフォームアプリを導入し、事務連絡をICT化
- ・自治会公式LINEを開設し、自治会情報や災害情報を発信
- ・自治会ホームページを作成、活動を見える化



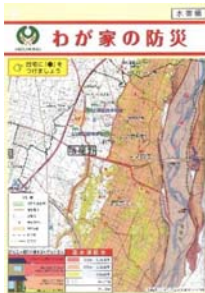
地域防災力の向上

防災による共助の精神の浸透

地区名：平石、瑞穂野、河内、宝木

<主な取組>

- ・日頃の備えや災害時の行動などを掲載した「防災のしおり」を作成し、防災に関する意識啓発の実施
- ・防災かまどベンチを設置し、災害への備えと安心感を醸成



共助による福祉力の向上

地域共生社会の実現に向けた取組

地区名：平石、西原

<主な取組>

- ・地域の高齢者等に対するアンケートを実施し、生活の中の困り事や悩みを吸い上げ、その解決に向けた活動の仕組み作り
- ・健康や福祉に関する連絡会議により、住民が気楽に集える場を創出



↑ 講演会等での“学びとつながり”を自治会活動で活かす！

意識醸成のための講演会・ワークショップの開催

課題解決策の習得と自治会長同士の情報交換

令和3年度のテーマ：アフターコロナに必要とされる自治会運営、今後求められる自治会の役割 など



自治会加入の メリット創出

自治会会員の優待制度「宮PASS」

- ・自治会加入の満足度を高め、既存会員の退会防止や、自治会未加入者の加入を促進
- ・市内外のサービス提供施設に「宮PASS」を提示し、割引や特典などの優待を受けることができる制度
- ・様々な機会を捉えた周知に努めるほか、他の加入促進策に併せて活用することで加入を促進



ご利用方法



カードを持って…



サービス提供施設で提示！

- ・宇都宮市内の自治会に加入している1世帯に1枚発行
- ・カードは世帯全員が使用可能
- ・サービス提供施設にて提示することで優待利用（割引や特典）
- ・有効期間は3年間（2021年5月1日～2024年4月30日）